

米子からのメッセージ

えころじすと

vol.22 冬

発行人 米子地区環境問題を考える企業懇話会編集委員会 2004.Mar

発行日 2004年3月25日

家族そろって、



第6回全国ゼロエミッション会議・鳥取SEIBU会議

第6回全国ゼロエミッション会議

CONTENTS

リサイクルフェア2003	
第6回全国ゼロエミッション会議2
ご挨拶2
水鳥観察会3
中海環境フォーラム3
企業研修3
割りばしサミット4
実施済 会議・行事4
今後の予定4
会員企業一覧4

第6回 全国ゼロエミッション会議

第6回全国ゼロエミッション会議・鳥取SEIBU会議が11月3日（月・祝）に米子コンベンションセンター国際会議室で開催されました。主催は、鳥取県・鳥取県西部広域行政管理組合・地球ネットワーク会議でメインテーマ「かけがえのない地球を守るために」のもと鳥取環境大学学長 加藤尚武氏の基調講演、地域の取組事例発表「家庭から地域へ広がるリサイクルの輪」で、地域と連携した企業の実践活動として王子製紙（株）米子工場の江原氏が、割りばし回収運動の全国展開の取組を発表されました。他に鳥取県版ISOの取得家庭紹介・環境大学での実践活動の取組があり「子供たちのゼロエミッション活動」では、小・中・高校の体験報告・活動紹介がありました。

パネルディスカッションでは、テーマ「ゼロエミッションを進める地域の連携について」のもと住民・行政の取組を広げる上での課題等の意見交換があり、会場からの意見も聴取し検討されました。

その他の催しで企業懇話会は、リサイクルフェアの体験コーナーで紙すきを担当しました。

会長 新任御挨拶

王子製紙（株）米子工場 工場長代理 木塚 浩



当企業懇話会は発足後約8年が経って、参加企業も発足当時の9社から現在では26社にまで広がり、その間「全国割りばしサミット」の開催、「水辺のわくわく学校」の築造等地域社会に密着した環境関連活動を展開してきております。

私自身米子市住民となってまだ1ヶ月余りで、新米市民ですが、大山、中海、弓ヶ浜、美保湾等の見事な自然環境の中で生活する幸せを実感致しております。

当懇話会の活動が、この米子地区の美しい自然環境を、我々の子供達、孫達の世代にも受け継がれることの一助となることを願っておりますので、会員の皆様のご理解とご支援を宜しくお願い申し上げます。

水鳥観察会

平成16年1月24日



平成16年1月24日（土）朝7時から米子水鳥公園ネイチャーセンターにおいて約30名の出席のもと恒例の水鳥観察会を実施しました。毎年、企業懇話会が美化清掃活動を実施して水鳥たちの環境改善に一役買っている場所であり、越冬のため飛来しているコハクチョウや2,000羽を超えるたくさんの水鳥たちを見ることができ、まさにこの清掃活動が少しは役立っていると実感できました。

また、当日は絶好の観察日和で、前日からの雪で真っ白な雪景色。雄大な大山を眺めながらのすばらしい観察会となりました。水鳥公園の桐原指導員さんに鳥たちの生態等について説明を受けながら、コハクチョウが親子で行動する様子や水鳥たちが羽を休めている様子、餌を求めて飛び立つ姿などを望遠鏡を使って間近かに観察でき、楽しいひと時を過ごすことができました。

中国電力（株）

中海環境フォーラム ～とりもどそう私たちの中海～

平成16年2月14日

2月14日（土）にふれあいの里で中海環境フォーラムが開催されました。

基調講演は、早稲田大学教授 沖野 外輝夫氏「諏訪湖における水質浄化への取り組み」で諏訪湖の汚染と浄化の経過が紹介されました。湖畔の修復事業と下水道事業の進捗の展開によって水質改善に向かっていきます。

パネルディスカッション テーマ「中海における水環境の保全・再生と地域の活性化」で中海の現状、環境修復等が話されました。

中海をどのような姿にもどすのか、地元住民が行政と一体になって水質保全に努めることを感じました。

企業研修

島根原子力発電所 を見学して

平成15年11月20日

もう昨年になりますが、そぼ降る雨の中、王子製紙さんのバスに揺られて島根原子力発電所見学研修会に参加させていただきました。滅多にない機会ですので、「見れるものは何でも見るぞ～～」という意気込みで臨みました。が、現地に到着して初めて目にする設備の数々に、すっかり舞上ってしまい皆様に詳細をご報告することは出来そうにありません。そこで、一番印象に残っている事だけ…。

既に火力発電所の見学経験のある方が、「原子力発電所はコンパクトだな～」と言われた事！私はずーっと「こんな大きな施設は見たことない」と思っていましたのに。やはり色々見ておかないといけませんね、という事でまだ足を踏み入れた事のない方！次回の機会を逃されませんように！（現在は、見学受付を中止されているようです…）

最後になりましたが、この見学研修会を企画して下さった企業懇話会の方々、中国電力の皆様、いろいろとお世話いただきありがとうございました。

（株）スペック 松本素子

第5回 全国割りばしサミット

作文の部で最優秀賞を受賞された島林昌子さんの作品を一部紹介します。

環境への取り組み

ゴミ分別収集が施行されてはや10年が過ぎました。そんな中、米子市彦名町にお住まいの向井哲朗氏は「割り箸に第2の人生を」をスローガンに割り箸回収運動を1人で始められました。まさに「千里の道も1歩から」の精神が脈々と生きついているようで、すごく感動しました。

それでは「割り箸の第2の人生を」さぐっていきたいと思います。使用済みの集められた割り箸はアルカリ液の中で煮て溶かされ、半分が紙に再生されます。紙にならないマツヤニとか、樹脂の部分は、工場の発電用ボイラーの燃料として再利用されるのです。これは化石燃料の代替として有効利用されていますので、地球温暖化防止の視点から見てすばらしいリサイクルの取り組みだと思えます。

割り箸リサイクルは、直接的、間接的に環境保全に役立っています。2重3重に効率的な割り箸リサイクルは、住民と企業と行政が協力して身近な環境を見直し、自分達で改善しようというグラウンドワークの最先端の運動であると思えます。

実施済 会議・行事

○幹事会

- 第9回 12/5 米子市役所旧庁舎
- 第10回 1/15 米子市役所
- 第11回 2/4 米子市役所
- 第12回 2/24 米子市役所旧庁舎
- 第13回 3/16 米子市役所旧庁舎



実施した 行事

- 11/3 リサイクルフェア2003 紙すき体験コーナー
- 11/20 企業研修 中国電力島根原子力発電所
- 1/24 水鳥観察会



行政主催の 行事への参加

- ① 11/3 リサイクルフェア2003 第6回全国ゼロエミッション会議
- ② 2/14 中海環境フォーラム

今後の予定

- 4/22 平成16年度企業懇話会 総会
- 6/20 米子市環境フェアー
- 8/21 第6回割りばしサミット

会員企業一覧

- 王子製紙(株)米子工場
- サンイン技術コンサルタント
- (株)さんれいフーズ
- 永瀬石油(株)
- (株)フィディア
- (協)やよいデパート
- 米子信用金庫
- 尾崎商事(株)米子工場
- (株)山陰合同銀行米子支店
- (株)米子高島屋
- 日本たばこ産業(株)米子工場
- 富士通ディスプレイテクノロジーズ(株)米子テクノロジーセンター
- 米子ガス(株)
- 加藤商事(株)
- 山陰酸素工業(株)
- 中国電力(株)米子営業所
- 日本通運(株)米子支店
- 堀田石油(株)
- (株)ユニサン
- (株)米子青果
- 境港海陸運送(株)
- 山陰信販(株)
- (株)鳥取銀行米子支店
- 西日本旅客鉄道(株)米子支社
- 美保テクノス(株)
- (株)米子しんまち天満屋

※企業名はアイウエオ順 ●は平成15年度幹事会社

編集後記

15年度の行事がほぼ終わりほっとしています。次年度も行事がもりだくさんです。

堀田石油(株) 植田

※ この用紙は、回収された割り箸が原料の一部となって王子製紙(株)米子工場で製造されたものです。